

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月13日

アンケート期間:令和2年2月1日～令和2年2月28日

事業所名 デイサービスACT

保護者等数(児童数)7名

回収数7

割合100%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			運動系のとくみでも、子どもは自由に動いた。スペースは広い	活動スペースと生活スペースの区切りを明確にする。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1		子が4人でスタッフ1名の時がある。優しく信頼している	継続して保育士の配置を行う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2		床が滑りやすい。窓が広く開放感がある。	環境整備や床の修繕を行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2	1	汚れ等をすぐに対応してくれた。夏場のクーラー、オマルの使いまわし他の子が使った後のオマルは衛生的に心配。	登園前の準備をしっかりしていく。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7			作成されている。しっかりと見てくれ、活動内容に活かされている。	引き続き行っていく。アセスメントの時期を見直していく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			4	ガイドラインの説明も実施することを検討したい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			充実している	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6			1 名は同じだが、違った取り組みを入れている。季節感がある。	ケースの充実を図っていきたい。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	2 同じ施設内に保育園があるが、交流はない。機会はなかった。	保護者の方のニーズをしっかりと見定めていきたい。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7			わからなかったことを丁寧に教えてくれた。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4			3 質問の意図がわからない。定期的に説明がなされた。	ガイドラインの説明も実施することを検討したい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4			3 対応をしてくれている。家族支援プログラムが何をさすのかわからない。	環境整備や床の修繕を行う。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7			毎朝お休みだった日のご様子をお聞きしている。情報共有もされている。単独時の様子も丁寧に伝えてくれ、変化や自宅での様子もアドバイスがあった。	
保護者 への 説明 等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7			随時話を聞いてくれる。いつも親身。連絡ノートにて	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		1	4 全体との打ち合わせに行き違いが生じる。父母会を知らない。	保護者会は、対象児が少ないため未実施。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	2		1 子どもの調子が悪いとき、先生と相談し保護者に説明するフォローしてもらえた。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1		1 個人的な話をする場がない。(面談以外)	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			3 定期的にもらえる。ホームページを見ない	ホームページの活用については検討する。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6			1	
	非常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか		3		4 緊急時・防犯は未実施 防犯マニュアル、訓練はない。
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか			2	2	3 行った日に登園していない。	防災訓練を定期的にも実施していく。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	6			1 家族以外に信頼できる人が見つかった。家でも先生の話を楽しそうにしている。先生が好き。	
	23 事業所の支援に満足しているか	6	1		愛情をもって子どもと向き合っている。安心している。母子連帯は弱くはない。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援管理責任者 水野裕貴

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和2年3月11日

公表:令和2年3月13日

事業所名 デイサービスACT

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動場所等の環境づくりについて、その年度によりわかりやすい配置にしている	教材庫の設置、教材の整理を検討する。
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準以上の職員配置をしている。	3人に1名以上の人数配置をしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	修繕をくり返し、その年の親子の姿により改善している。	手洗い場が外にあり、冬場寒い。トイレ等の暖房の設置。施設の老朽化による修繕の実施を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	毎朝の拭き掃除等を必ず行っている。	継続して登園しやすい環境づくりを行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎回のケース会議を積み重ねている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を基に職員で検討している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質	○		公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	まだ未実施	法人全体で検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	年間を通した研修計画の策定をする。	職員の資質の向上を図っていく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の方の意見を聞き作成している。	個別の懇談や集団での懇談を積み重ねて丁寧な保護者支援を行っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容	○		ガイドラインも含めて、個別の支援計画を職員全体で作りにしている。	引き続き丁寧に作っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎回のケースで子どもの話題を含みながら支援をしている。	支援計画と子供の発達に沿えるよう時期をしっかりと検討していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っている	引き続き実施していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節も含めて子どもの姿に適したプログラムの実施をしている。	引き続き実施していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育としては行っていないが、集団の中で個に視点を当てている。	引き続き実施していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回始まりと終わりで実施している。	引き続き実施していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回実施している。	引き続き実施していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回連絡ノートを通して実施している。	引き続き実施していく。
関係 機関	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		実施している。	引き続き実施していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		連絡を密に取り合い実施している。	引き続き実施していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		実施している。	引き続き実施していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			今年度は登録していません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、	○		実施している。	定期的なアフターフォローも検討していく。

や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有			2才児のみを対象にして事業を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		隣接しているため実施している。	引き続き実施していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	園庭を共有して遊ぶことがある。	交流の機会の要求がありません。いっしょに遊ぶ機会は設けたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○		児発管のみ参加している。	現場の職員も出られるように検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回始まりと終わりで実施している。	今まで以上に大切にしていきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○		職員の資質の向上を図っていくための研修機会を設けられるように検討する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		実施している。	引き続き実施していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		実施している。	引き続き実施していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回保護者の方と丁寧に積み重ねている。	引き続き実施していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		対象児が少ないため、保護者会は設置していない。	父へのアプローチを検討していく。家族ぐるみの支援を実施していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者の方の申し出により実施している。	引き続き実施していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月発行している。	引き続き実施していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			引き続き実施していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			引き続き実施していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		法人とともに運営している。	引き続き実施していく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		丁寧に検討し実施していく。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		行っている。	丁寧に検討し実施していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。
 デイサービスACT 児童発達支援管理責任者水野裕貴

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2020年 3月 11日

公表:2020年3月13日

事業所名 デイサービスACT

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の人数を配置している。	個別対応となるケースも丁寧に対応をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			トイレも含めてバリアフリー環境として整っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人全体の検討課題としていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			パート(学生アルバイト含め)への研修機会を年間通して計画をしていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			定期的にスタッフ会議を開催し、プログラムの固定化をしたいように計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日によって活動内容を変えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせは行うようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員とパート・アルバイト間は、必ずとは言えない(送迎の関係のため)。そのため、個人記録を通して子どもの姿への理解を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援に関して、1人1人が記録を取っている。	
関係機関や保護者との	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)等について、子どもを安全に送迎している	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修		○		保護者の方と相談をしながら、実施に向けて検討していく。
	25		○			

の連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			隣接している学童保育とともに保護者のニーズを丁寧にとらえ、検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			自立支援連絡協議会には事務局として参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個別での懇談などを行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今年度は前年度のように行えていないが、個々の懇談を丁寧に行う支援をしてきた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			デイサービスとしてのマニュアルは周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		避難訓練は行われていない現状があるので、防犯を含めた備えを検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			個別で意見書をもらい対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事後報告書をまとめたファイルで共有できる。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			様々な事態を想定し、実施を検討していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		丁寧に検討し実施していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		行っている。	丁寧に検討し実施していく。

デイサービスACT 児童発達支援管理責任者 水野裕貴

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：2020年3月13日

アンケート期間：2020年2月1日～2020年2月29日

事業所名 デイサービスACT 保護者等数(児童数) 25 回収数 17 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17					毎日清掃をし、過ごしやすい環境づくりを務めている
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	16	1				
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	1				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	8	3			親子のニーズを捉え、行いか検討する。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2				保護者の方と個人懇談を定期的を実施していく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	6	3			親同士の横のつながり、関係づくりを意識づけていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3				
14 個人情報に十分注意しているか	16	1					
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	7	1			地域の防災訓練に参加していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	10				保護者の方とも密に連絡をとり、防災意識を高めていく。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17					
	18 事業所の支援に満足しているか	15	2				

